



## 石狩市の自然と生物多様性

生物多様性とは、さまざまな環境の中に、さまざまな特徴を持った生き物が互いに  
関わり合い、バランスを保ちながら暮らしていることを言います。石狩市の環境の中  
では次のようなことが挙げられます。

### 生態系の 多様性

海・山・川・森・湿地など、その場所の気候や地形などによってさまざまな生態系が  
あります。石狩市は海岸だけでも砂浜や岩礁がしろうなど異なる環境があり、それぞれの環  
境に適応した動植物が特徴的な生態系をつくっています。

### 種の多様性

動物や植物など、たくさんの種が生存しています。市内では哺乳類33種、鳥類  
115種、爬虫類はちゆう6種、両生類6  
種、魚類47種、昆虫類等  
1,310種、植物520種が確認  
されています。

調査をしていない場所も  
多くあるため、もっと多くの  
種が生息・生育していると推  
測されます。

### 遺伝子の 多様性

同じ種内でも、個体の遺伝  
的な変異によって性質に違  
いがあります。例えば、同じ  
種でも色や模様が違うこと  
もあり、石狩浜で見られるハマ  
ヒルガオやエゾカワラナデシ  
コの多くはピンク色の花を咲  
かせますが、中には白い花を  
咲かせる個体もあります。



石狩浜海浜植物保護センターのHPやInstagramで、石狩市の  
生物多様性や保全の取り組みを発信しています。ぜひご覧ください!



▲HP



▲Instagram